

オーソライズドジェネリックに関するアンケート調査結果

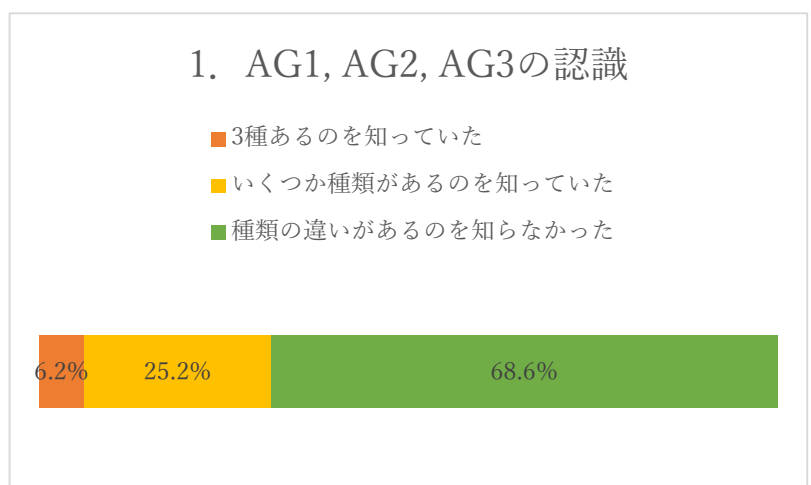
東京保険医協会 研究部

調査概要

- ・調査期間：2022年10月11日から10月31日
- ・調査対象：FAX及びメール送信可能な協会会員4488件中814件からの回答（回答率18.1%）
- ・調査方法：質問紙調査およびインターネット調査
- ・調査結果発表：①2022年12月18日 ジェネリックシンポジウム開催時（東京保険医協会セミナールームおよびweb配信）、②東京保険医協会ホームページ、③東京保険医協会『診療研究』誌、④東京保険医新聞紙上

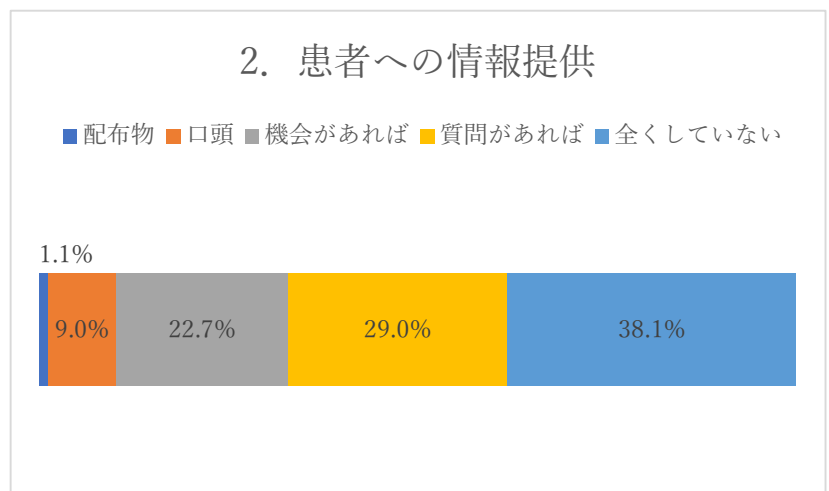
質問1 AG1, AG2, AG3の認識（AGには3種類あるのを知っているか否か）

1. AGには3種類あるのを知っていた。（50）
2. AGにはいくつか種類があるのを知っていた。（205）
3. AGの種類の違いの認識は全くなかった。（558）



質問2 AGの患者への情報提供

1. 配布物などを使用して積極的にしている。（9）
2. 口頭で積極的にしている。（73）
3. 何か機会があればしている。（184）
4. 患者や家族から質問があればしている。（235）
5. 全くしていない。（309）



質問3 院内処方または院外処方

1. 院内処方（85）
2. 院外処方（660）
3. その他（69）
 - ・併用・両方（59）
 - ・当院は処方しないクリニックです。
 - ・製剤により



- ・ 当院に在庫がない薬剤を含む処方薬が必要な時のみ院外としています。
- ・ 原則院外処方ですが、一部院内処方。希望者のみ。
- ・ 皮フ科なので軟こう類は先発品院内処方、経口や複雑な処方処方箋
- ・ AG は院内、院外も併用（院外も併用それは先発だったり後発だったり）
- ・ 7割位院内、3割位院外
- ・ 入院処方
- ・ 基本的に院内処方

質問4 先発品とAGと一般ジェネリック（GE）の処方

1. 先発品だけを処方している。

(58)

2. AGを指定して変更不可処方し、AGがないものは先発品を処方している（患者の希望によりGE処方になる場合も含める）。 (97)

3. AGは積極的に処方しているが、AGがないものは先発品よりGEを処方している。 (97)

4. 先発品・AGにこだわらず一般名やGEで処方している。 (478)

5. その他 (85)

- ・ 先発品・AGにこだわらず一般名で処方・説明し、選択は本人に行わせている。
- ・ 先発品+一般名、患者希望にて変更可
- ・ 薬局任せ
- ・ 薬の種類によりAGや先発品を処方している。
- ・ 患者の希望により使い分けしている
- ・ 2.3両方
- ・ 内服・外用の種類、患者の希望などにより、その都度判断している。
- ・ パソコンのため、手間取ることもあるから
- ・ 先発中心にはしているが、患者の希望でジェネリックが増えているのが現状です。
- ・ 一般名で処方し、選択は薬局・患者に任せている。先発品やAGを使っしてほしいときは口頭で薬局に言うように患者に伝えている。
- ・ 外用のみ先発品。内服は指定していない。
- ・ 先発とAGを優先、それ以外は患者の希望があれば処方
- ・ 軟膏は先発品を指定
- ・ 先発品とAGを優先している。
- ・ 乳幼児と妊婦は先発品のみでそれ以外はこだわらない。
- ・ 電子カルテで自動的に成分名がわかるので。
- ・ この2～3年は限定した内服薬のみジェネリックと先発品の両方を使用してGEの副作用や効果をチェックしながら処方している。
- ・ 可能な限り先発品を処方している・AGのあるものは積極的にAGを処方している。AGのないものは先発品をかなり処方している。患者の希望によりGEも使用する。

4. 先発品とAGとGEの処方

- 先発のみ
- AGを指定して変更不可処方、無いものは先発品
- AGがないものは先発品よりGE
- 先発品・AGにこだわらず
- その他



- ・ 先発品と一般処方の混在
- ・ 先発品、一般ジェネリック、AG の順で出す。
- ・ 抗菌薬と鎮痛剤の 2 種類しか処方していない（術後）。
- ・ 先発 0 r 一般名
- ・ 先発品→AG→GE の順で処方している。
- ・ 一般名処方にし、患者さんに情報をしっかり伝え、自身で先発か、他 GE かを薬局で選択するよう教えている。
- ・ 先発品で処方しているが、AG、GE の変更を可としている。
- ・ 供給状況次第
- ・ 希望があればジェネリックにしています。
- ・ 希望があるときのみ GE
- ・ 近隣薬局には AG を用意するよう依頼している。
- ・ 基本的に先発。ピルはメーカーを指定したジェネリック。AG は最優先。
- ・ 先発品だけを処方。ジェネリックを希望する患者さんには、特に循環器、CNS、内分泌の薬に関しては個人の責任で選んでもらうよう院内掲示済み。
- ・ 先発品で処方し、変更可としている。
- ・ 問題があるときは詳細お話し、先発品を出すことをお勧めしている。効果の差が明らかなものは先発品にしている。
- ・ 患者さんの希望で処方していた。
- ・ 先発品も AG 含めた GE とも処方。
- ・ 薬剤によって先発品、AG にこだわることもあり。
- ・ 先発品、AG を希望するなら、個別に薬局に申し出るよう指示している。
- ・ 原則先発品に患者さんの希望あれば一般ジェネリックも処方ケースバイケース。
- ・ AG または GE を入手可能なものは処方している。
- ・ 抗アレルギー剤は 2、それ以外は 3。
- ・ 基本的に 4 であるが、後発医薬品への変更不可のもののみその注意書きを添えて処方している
- ・ 先発品、AG とも処方している・先発をメイン、患者の希望で後発品（薬局任せ）
- ・ 本来は 1 が望ましいが、実施できていない・欠点が改善されず、先発・AG・GE にこだわらず使用
- ・ 出した処方箋を薬局が調節して出しているようです。
- ・ 院内処方なので外用薬はほぼ先発、内服は先発と AG 1 使用。
- ・ ただし、GE 不可で先発品を指定する場合あり。
- ・ 薬品によって先発品と AG、GE とを分けている。
- ・ 先発品で処方箋を出し、GE に変更可としている。希望に合わせて、ケースバイケースで先発と GE を処方、特に AG（点眼は少ない？）にこだわりなし。
- ・ 先発もしくは AG を勧めている。
- ・ AG という存在は今回初めて知りました。先発品と一般ジェネリックと思っていました。
- ・ ホクナリンテープのみ先発品（マルホ）を必ず使用するよう周知徹底しています（薬剤師にも患者ご家族にも）。ホクナリンテープに関してはジェネリックは全く違うものと認識しています。ライセンスが切れる前に製造したから。
- ・ 患者の希望と薬局の意向で。
- ・ 先発品名で処方しているが GE 変更認めている。
- ・ 一般名処方だが薬局でジェネリック可としている。
- ・ 一部薬品は“2”を選択、それ以外は“4”で処方しています。

- ・ 先発品で処方し、変更可としている・先発品の処方箋で、GE を使うかどうかは本人に任せている。
- ・ 先発品希望の患者さんには先発品で処方。
- ・ 先発品が品薄で先発品が処方できない（キプレスなど）・患者さんのご希望によります。
- ・ 小児には先発品を処方している。薬剤の情報量、副反応副作用の情報量が多い。紹介先への依頼がしやすい。
- ・ 一部薬剤のみ先発品としている。
- ・ AG を優先、後発品メーカー指定、変更不可。
- ・ 基本、先発品を処方し変更可としており、患者の希望を優先している。
- ・ 薬剤の種類に応じて先発日や AG を使い分けて処方している。一部 GE を含む。
- ・ 患者さんの希望による。・外用剤は基本先発品のみです。
- ・ 先発品処方を原則として、一部の薬剤のみジェネリックで処方しています。AG については特別な意識はありませんでした。
- ・ 薬の種類により、先発品のみに指定している。
- ・ 院外は一般名、院内は AG か先発。
- ・ 処方箋発行の場合は一般名。
- ・ 基本的に先発品を処方している。患者よりジェネリック変更の希望があった時のみ変更を許可している。門前の薬局にはできるだけ AG1 を採用する様求めている。
- ・ 当院の中心院外薬局とは細かく情報交換をして、処方している。
- ・ 薬局にないものは処方しにくいです。
- ・ 処方薬局の対応により相談している（処方時）。
- ・ 一般名処方、患者が選ぶ。

質問 5 AG 処方時の処方箋薬局との関係（質問 3 で「2. 院外処方」に○をつけた場合のみ回答）

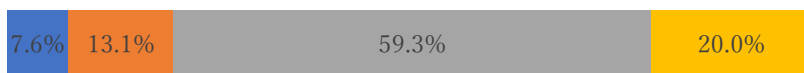
1. AG から GE への変更を認めず、AG が薬局になれば先発品にする。（53）
2. AG がなければ GE を許可し、次回までに調剤できるように指示する。（91）
3. AG がなければ GE を許可し次回もそのまま許可する。（412）

4. その他（139）

- ・ 薬局に任しています。
- ・ 薬局の意見に従う感じです。
- ・ 気にしていませんでした。
- ・ AG も GE も処方していない。
- ・ case by case
- ・ 先発品がない場合、患者の同意を得て薬局にて変更
- ・ 薬剤メーカー等により適宜判断します。
- ・ 薬局任せ
- ・ 項目 1、項目 2、及び薬の種類（病状）によって、「AG→GE」、「AG→先発品」とします。
- ・ できるだけ AG で、ご本人の意見も伺いながら。
- ・ 後発品（AG 含む）の銘柄指定すると詳記が必要になるので一般名処方の場合は薬局任せ。

5. 処方箋薬局との関係

- AGからGEへの変更を認めず
- 次回 までに調剤できるように指示
- 次回もそのまま許可
- その他



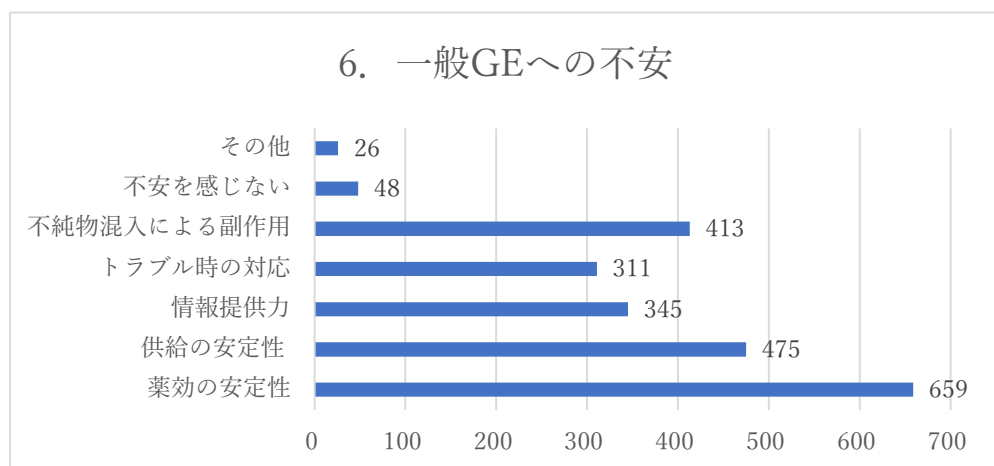
- ・ 患者の希望があれば GE にしている。
- ・ 薬局任せ
- ・ 1.2 両方
- ・ AG の種類の認識がなかったため、コミュニケーションをとっていない。調剤薬局からの問い合わせもない。
- ・ 患者の要望になるべく沿う
- ・ 一般名処方をして、患者と薬局に任せている。
- ・ 薬局の採用がわからない。
- ・ 一般名処方を行い、薬剤は薬局に一任。
- ・ 薬局に任せている。
- ・ 一般名処方にした場合、AG、GE どちらが調剤されているのか確認していないため不明。
- ・ 薬局にお任せ
- ・ 調剤薬局に任せている。
- ・ AG としては処方していない。
- ・ あまりこだわっていない。
- ・ こだわらない。
- ・ 当院でお願いしている処方箋薬局はそこまで劣化した薬を使っているとは思えないため、信じて処方しています。
- ・ 薬局に一任
- ・ 全て薬局の判断
- ・ 患者様と薬局で相談して決めてもらう
- ・ 基本的に先発品から AG、GE の変更不可。
- ・ 患者さんと相談してもらって決める
- ・ 特になし
- ・ 患者様側からの求めに応じ、AG を調剤してもらう
- ・ 患者さんに選択させている。（薬局で GE を勧められて先発希望の場合は薬剤師にその旨伝えるよう指導している。
- ・ あまり意識したことなかった
- ・ 特に指定なし、先発品のみ指定あり。
- ・ 供給状況次第
- ・ 気にしたことがない
- ・ 患者さんと薬局で相談してもらう
- ・ AG, GE は特に指示していない。
- ・ 特に何もしていません。
- ・ なるべく先発品をつくっている会社をすすめる
- ・ 薬局と患者とのやりとりで決定してもらう。関与しない。
- ・ こだわりなし
- ・ 先発か GE しか選べない。
- ・ これまで AG、GE の認識なし
- ・ 特に何も決めていない
- ・ AG、GE を指定したことがない
- ・ 現状では現場での対応困難と思います。
- ・ 薬剤により対応異なる。

- ・ AG か GE かのやり取りが特に薬局との間でない。
- ・ ほぼ薬局に任せています。
- ・ 実績のあるジェネリック会社のみ処方するよう口頭で頼んであるだけ。
- ・ 本人の希望に任せている。
- ・ 薬局まかせ、先発品以外は
- ・ 質問 4 の 4
- ・ AD についての疑義照会等してないです。
- ・ 今まで知らなく細かい指示はしていない
- ・ 勤務する病院と、その系列病院の方針に従い、多く使用している
- ・ 指示なし
- ・ AG への指定を行っていませんでした
- ・ 患者が AG を希望しているのであれば、取り寄せてもらう
- ・ 基本は先発
- ・ 選択肢のようなやり取りはありません
- ・ とにかく薬局の一存で調節しているようです。患者に知識があつて、先発を希望する場合は出すようです。
- ・ GE 変更は必ず患者の意向を聞いてからにしている。
- ・ 患者の希望に従って GE を処方している。
- ・ 調剤薬局に一任
- ・ 先発品で処方箋を出し、GE に変更可としている。
- ・ 選択は薬局一任。
- ・ 先発品主体で一般ジェネリックを一部処方。
- ・ GE があれば GE を調剤してもらい、なければ従来通り先発品を調剤してもらうようにしている。
- ・ 患者の希望
- ・ 原則先発品で患者さんの希望で AG (AG は薬局で説明と認識しています)
- ・ 薬局が勝手に調剤しているのでこちらは分からない。
- ・ 特別指示しない。
- ・ 上記質問 4
- ・ AG を指定していない。
- ・ GE 可の処方箋。
- ・ 薬局から患者へ説明してもらい、患者に決めてもらっている。
- ・ 家族・本人の希望も確認する。
- ・ 基本先発処方では患者さんまかせ
- ・ 小児科なので GE 少ない
- ・ 薬局で患者に説明し、納得いく方を選んでもらう
- ・ AG を指定して処方していない (一般名処方)
- ・ 薬局に一任
- ・ 患者さんの希望で処方
- ・ 特に考えていません
- ・ 特に連絡をとりあっていない
- ・ 今まで AG と GE のちがいを認識していませんでした
- ・ 特段の指示なし
- ・ AG は許可しない

- ・ AG の存在を知らなかったので対応なし。
- ・ AG を優先にしていない。
- ・ 特に指定していませんでした。
- ・ 薬局に任せている。
- ・ 区別が分かりません。
- ・ 質問 4 と同様。
- ・ AG で処方を出すことがほとんどなし
- ・ AG, GE を区別していない。
- ・ 薬局に任せてます。
- ・ 何が AG か知らない
- ・ 一般名処方し、薬局に任せている
- ・ 先発品名で処方、変更可としている
- ・ 特に指示していない
- ・ 医薬品の流通が不安定なため、ジェネリックがなければ先発品を採用する。
- ・ 薬局と患者間で話し合ってもらう
- ・ こだわらない
- ・ 薬局さんにお任せです。
- ・ 一般名処方のまま調剤薬局と患者さまのご意志に任せている
- ・ 患者の行っている院外薬局に任せている。
- ・ 薬局から何も問い合わせがないので変更も許可もしようがない
- ・ 調剤薬局へお任せしている
- ・ 一般名処方
- ・ 薬局により対応が可能なところと相談する
- ・ AG を処方したことがない
- ・ 患者が承諾すれば GE を許可

質問 6 一般 GE (AG 以外の GE) に対して不安に感じる事 (複数選択可)

1. 薬効の安定性 (有効成分の含有量、安定性、溶解性) (660)
2. 供給の安定性 (476)
3. 情報提供力 (迅速な副作用情報等) (346)
4. トラブル時の対応 (312)
5. 不純物混入による副作用 (414)
6. 不安を感じない (48)
7. その他 (26)



- ・ adalat は generic ダメ。
- ・ 特に AG 3 からは懐疑的。
- ・ 薬価が製造コストに対価ある設定とすることが第一です。
- ・ 外用薬の pH 値

- ・ 有用性（有効性、副作用）
- ・ わからない
- ・ 特に①と⑤
- ・ 保険証本人の承諾なく、一律に私はジェネリック処方を希望していますと記載があるのは言論の自由の観点から違法行為だと思う。
- ・ 服用のしやすさの違い
- ・ 効きが悪い
- ・ 原薬・添加物の信頼性
- ・ 患者さんの言動：効きが悪い、溶けない、飲みにくいなど。
- ・ 効能の減少あり
- ・ データがない。
- ・ ホクナリンテープ等の貼布剤は GE が同等の血中濃度、作用時間を有するのか？肌荒れの問題あり。
- ・ 皮膚科なので外用薬の外観が大事、サンプルを持ってこないのではどの外用をどこに使っているのか、患者とコミュニケーションが取れなくて困る。
- ・ 有効性、特に外用薬
- ・ 副作用が出た時の原因がはつきりしないのでは。
- ・ ジェネリックメーカーも努力を
- ・ キプレス OD(モンテルカスト)にて、気分がふさがる等のために副作用症状があり（メーカー不明）
- ・ 会社の体制、ゾロ品を平気で打っていた時代と変わりありません。もし AG を使用するなら非常に厳しい審査をする必要があります。
- ・ 効果
- ・ 患者に対する安心感が得られるか。
- ・ 一般名処方では薬局が選択することになる。薬局は利益優先で選ぶ傾向がある。利幅の大きい薬剤（品質が悪い）を選ぶ傾向があるので要注意。一般名処方は危険である。
- ・ 同一成分なのに副作用が出るときがある
- ・ もしかして効果が先発と変わらないというデータが出てしまう
- ・ ある患者さんが先発品と比べて GE 薬の効果がないと感じた時
- ・ AG を少なくする国の方針が良い
- ・ GE の会社自体を信用していない

質問7 AGやGEについてコメントやご意見があれば記載してください

【AGについて】

- ・ AGをもっと増やすべき
- ・ AG 2 までは許認可と思われる。
- ・ ジェネリックの薬剤が AG 1、AG 2、AG 3、GE なのか情報がほしい。
- ・ どれが AG だがもっと分かりやすいとよい。調べてますが。
- ・ 恥ずかしながら AG に 3 種類あることを知らず今回のアンケートで初めて認識しました。勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ AG の種類について全く認識していませんでした。情報提供してほしいです。一般の方への啓発も必要です。
- ・ あまり認識していませんでした。勉強になりました。

- ・ AG に 3 種類あることを認識していませんでした。製品が AG1 なのか AG2 なのか AG3 なのか判別できるようにしてほしいです。
- ・ AG があるか都度確認する余裕はないので、患者が AG を希望したときのみ処方しています。
- ・ AG1 のみ信頼できる医薬品と考えています。
- ・ 先発品が価格の面でも競争できるようになる AG1, 2 は意味があります。患者のメリットも大きいです。
- ・ AG の選択権が医師側にないことが問題です。
- ・ AG についての情報収集不足で不安なため、原則先発品を処方しています。どれが AG か GE かわからないことが多いです。
- ・ オーソライズドジェネリックという言葉は初めて耳にしましたので、どういうものかピンと来ません。具体的な製品を見ないと。当院では先発品が 9 割という感じですが、後発品に関しては AG も一般ジェネリックも区別せずに使っていたのだと思います。
- ・ AG 1 のみを AG とよぶべきでは？
- ・ AG1～3 と言われてもどの薬がどの分類になるのかわからない。AG、GE の区別は不可能。
- ・ AG 1、AG2 まで許可してそれ以外は不採用にしてほしい。
- ・ AG か否かはどこで調べればわかるのでしょうか？勉強してみて使いたいと思います。
- ・ できれば今後、AG1～AG2 になっていただきたい
- ・ どの薬が AG なのかまた AG1～3 のどれかなのかといった情報が不足しています。
- ・ AG の薬剤は何があるのか、サイトや冊子があると助かる。
- ・ AG について全く知識がありません。
- ・ AG が増えるほうが安心である。
- ・ AG についてこれまで視野にありませんでした。要勉強です。
- ・ 全ての GE を AG としてほしい。安定供給！！
- ・ AG だと誰にでもわかる表示が欲しいです。
- ・ AG が安定供給できるように全力を上げるべき。
- ・ AG についての情報がなかったため対応してこなかった。作用薬剤について AG1～AG3 の情報がほしい、できれば先発品、AG1～2 までの処方をしたい。
- ・ AG の名目で薬価を吊り上げないでほしいです。
- ・ AG が better と思っています。
- ・ 原薬の異なる AG 3 を AG としてよいかどうかは疑問がありますが、原薬は品質に差があります。製造技術の異なる AG 2 は、溶出試験などに差が出ないでしょうか。本来、AG と言えるのは AG 1 のみと考えた方がよいのではないのでしょうか。
- ・ AG にもこのような違いがあるとは不勉強で知りませんでした。教えていただきありがとうございます。早速、当院で処方している AG が AG 1、2、3 のどれに当たるか調べたいと思います。
- ・ AG は先発品と同等かと思っていたが、AG 3 は GE 寄りのためきをつけたい。AG のランク（1～3）はどのようにして知ることができるのか教えていただきたい。
- ・ どの薬剤にどの AG（AG 1、AG 2、AG 3）があるか、理解していません。手元に一覧表などあればよいと思いました。
- ・ AG のことは、初めて知りました。使用しているものが、AG かどうか、どうやったらわかるのでしょうか？不勉強で申し訳ありません。
- ・ AG 1 の普及パンフの作成をお願いします。
- ・ AG にしても効果が減弱したり、副作用の症状が出るのが度々ある。
- ・ AG 1 の薬を増やして薬価を下げればよいと思う。
- ・ AG 1 が普及するとよい。

- ・ AG（特に AG 1）を積極的に投与したい。GE はフック作用が出る機会が少なくない。
- ・ AG の認識がありませんでした。
- ・ どの薬に AG があるか分からない。
- ・ AG, GE に関する情報がほとんどない。77 歳の老医には自ら PC などでも情報を取りに行くのが難しい。
- ・ AG や GE のことを説明するわかりやすいパンフレットがあるといいです。
- ・ AG であるかどうか、電子カルテの処方欄で判別できると良いのですが。
- ・ AG を積極的に院内処方しているが、薬価が安すぎて院外処方より収入減の場合やむをえず先発にしている。
- ・ GE は基本的に全て AG にすべきで可能なら AG1、AG2 だけにすれば良いと思います。
- ・ マスコミを通じて GE が複数あること、AG がベターなこと等を供給の安定を含めて大きく報道してほしい。
- ・ 認識不十分でした。先発品または AG にしていきたいと思います。
- ・ 先発品の販売力を下げることは日本の創薬力をなくす。内資メーカーの資金的体力低下が嘆かわしい。価格を抑えた AG（特に AG 1）が可能なので一般 GE（いいかげん、管理されていない）のとりやめ、又は基準の厳格化、AG 1、AG 2 にすることを望む。
- ・ 責任感に乏しい GE ではなく、今後は AG を積極的に使用する方針にすべきと思われます。
- ・ AG と GE の違いを知る方法が分からない。
- ・ ジェネリックについて知識不足でした。反省です。
- ・ AG や GE にも治験を求めるべき。治験の回数は AG と GE で区別すべき。
- ・ AG や GE に関しては殆ど知識がありませんでした。唯一、明治薬科大学の石川洋一先生の講演会があり”今のジェネリックは一昔前の物に比べてかなり良くなった、ものによっては先発品よりも良い”と言うお話を伺ってことがあるくらいです。
- ・ 患者さんへの安全が第一である。AG 1～AG 3 を含め詳細な情報を得たい。
- ・ 使う薬が限られていて、困ったことがあまりない。AG については勉強します。
- ・ 私は漢方療法が主で保険適応されている信頼できるエキス顆粒は GE、AG の中には見当たらないので AG には馴染みがない。
- ・ 先発品メーカーの研究開発力への悪影響が心配。
- ・ 端的にどうすればいいか知りたい。
- ・ 情報少なく知らなかった、恥ずかしい限りです。
- ・ 勉強不足でした。
- ・ 説明されたことはありません。残念。
- ・ 本当なのでしょうか。
- ・ 触媒は物質特許のみであることは認識するべきと存じます。

【一般GEについて】

- ・ いまだ GE への信頼の回復はなされていない。厚労省への不信が残存している。
- ・ 小児の場合、特に GE は処方したくないが、どうしてもない場合には変更を許可しています。
- ・ GE から GE の変更も同じ薬局である。心配
- ・ GE に対しても cross-over 試験を行って欲しいと思います。これを clear できれば問題なくなりますので。
- ・ 元々 GE には不信感を持っており、同じ調剤薬局から同様の GE が複数の医療機関より出ており、それにて複数例の死亡が出たことなども耳にしていた。調剤で何が出されるか分からないのでずっと院内処方にしてきた。これからもそうするつもり。

- ・ GE は、安かろう悪かろうが証明されました。
- ・ GE には品質への不安と脆弱な供給体制に不満があります。
- ・ ホルモン剤については GE でもメーカーを確認して処方している。
- ・ 今回ジェネリックもいろいろあるのだと知りました。
- ・ GE に対する思いは同じです。が、大きな流れに抗えず今に至っており、歯がゆいです。AG について無知であったため、これを機に勉強し、患者さまのためになるのであれば取り入れようと思います。
- ・ GE の情報提供が少ない。
- ・ 国を信用してジェネリックを使用していました。

【供給について】

- ・ AG、GE というより、薬が手に入らないのが困ります。
- ・ 薬剤の不足が最近多いのが気になります。
- ・ AG、GE、先発品いずれも安定供給してほしい
- ・ すべての医薬品の安定供給を望みます。
- ・ AG、GE ともにさらには先発品も含め、最近の供給不安定には本当に参っている！早くこの状況を解決・解消してほしい。
- ・ 品質、供給網の改善を切望しています
- ・ 一部院内だが、供給不安定、MR は自分で代替品探してと言う。
- ・ 流通の障害
- ・ 最近、必要な薬剤の不足が多くて診療に差し障りがある。
- ・ 供給を安定させてほしい
- ・ 昨今の供給の不安定さは死亡率も上げていると思います。薬剤変更によりコントロールは必ず一度は悪化します。
- ・ 今は供給が不安定で、薬価が下がっているため製造も辞めてしまうケースが増えており、どうにかならないのかと思う。
- ・ AG や GE を積極的に使用したいと考えますが、現状で感じる事は、供給の問題に尽きると思います。現在でも、急遽の出荷停止や販売中止を行う製薬会社があります。どんなに安価で優れたお薬でも、臨床で入手できなければ意味は無いと思います。品質や価格の問題は、その次の段階だと思います。供給の問題が改善されれば、AG や GE は積極的に使用したいと考えます。
- ・ 一次問屋、二次問屋の問題も取り上げてほしい。注文しても入荷せず、院外処方になってしまう薬剤が増加している。
- ・ GE の促進によって、以前より使っている先発品まで供給が止まってしまい、非常に困っている。
- ・ GE のトラブルで供給が停止されるのは困ります。
- ・ 最近の GE の供給の不安定さには目に余るものがある。

【品質・効果について】

- ・ 先発品とは別の薬剤と考えて使っている。
- ・ AG、GE に対して先発品と同一成分との謳い文句は違和感を感じる。
- ・ AG、GE ともに全く信用していません。
- ・ 何が混じっているのか不明の上、薬効も不安定。安価というだけで患者さんの治療には結びつかないときがある。
- ・ 薬の副作用については診察時に変化があったかどうかを気を付けることにしている。

- ・ 血中濃度や血中移行速度が異なると作用も異なり、副作用が出やすくなる。効果の安定性や副作用の出現が高いものを安価というだけで人に使用するのはいかがでしょうかと思う
- ・ ジェネリックはそもそも止めるべき。医者は効果を保証できない。
- ・ 安全性を優先してほしいです。
- ・ 主成分ニンジンとジャガイモと肉でカレーができたり、肉じゃがができたりですものね
- ・ 昨今、ジェネリック薬剤の供給が不安定となり、診療に支障をきたすことが多くなっている。医療費削減のために医療供給体制に支障をきたすのは問題であると感じる。安価な薬剤は成分だけ同量でどのような作られ方をしているのか分からず、効果にもばらつきがあるため、AG 薬を主としたジェネリック製剤を普及して頂きたいと思います。
- ・ P-4 省略しているから仕方がない。
- ・ 「基剤の違いによる効果の違い」また、「GE の 8 割の薬効があれば認可されること」への不安があります。
- ・ ジェネリックは、有効成分の力価がオリジナルの 0.8~1.25 である、と聞いたことがあります。薬剤によっては先発品とジェネリックで効果に差あり、たまに AG でもあり（当院では 1 例）
- ・ リウマチの患者にジェネリックを使ったら、リウマチが悪化し、CRP 赤沈等のマーカー上昇。明らかに先発品とは違うという印象。
- ・ 抗生剤、降圧薬、循環器系はほとんど先発（または AG 1）を処方している。確実な効果を望むため。
- ・ 循環器系薬剤とホルモン剤は微量な誤差が大きな変化を生じるため、先発薬メーカーを優先しています。
- ・ ジェネリックは先発品に非常によく似た別の薬と話す
- ・ 不安を感じながらも、やむを得ない対応として GE を処方してきました。AG の普及が望ましいと思いますが、これ以上処方が複雑化することも悩ましいところです。
- ・ 国力が低下する中、次世代への負担軽減のため、比較的安全な AG は使用するべきです。しかし、命に直結する疾患や高度医療では、この限りではありません。
- ・ GE が明らかに先発品との効果に差があるものについては、処方しないようにしている。国内の GE 認可基準は甘すぎるのではないかと感じる。
- ・ 基本的に抗がん剤の点滴は AG を使用しています。しかし、痛み止めの塗り薬、局麻の術後の鎮痛剤、抗生剤は GE で OK としています。
- ・ 使用後の症状に違和感があればその時点で対処する。
- ・ 基本、患者の希望を優先しているが、鎮痛剤や眠剤が薬局で先発品から GE に変更され効果が低かった時に患者から文句を言われると複雑な気分になります。
- ・ 先発品以外は信用できない。
- ・ 先発品について信頼している。AG や GE の処方に行っていない。医療費の削減については無駄な処方を行わないことで貢献している。
- ・ もっと薬価を上げて良品となれば国民の利益となる。安物買いの～では困る！！
- ・ 先発品欠品や販売中止でもない限り、医療従事者の 8 - 9 割は先発品を使用しているのでは？
- ・ 質問 4.5 については、薬の種類によって対応を変えている
- ・ 先発品を希望
- ・ 外用薬は基本的に先発品にしている。その他、こちらの予想と異なる経過の際には、処方薬剤を確認し、薬局に直接、指示を出している。
- ・ 安かろう良かろうが望ましい。当然ながら。
- ・ 信頼していません。

- ・ 原薬の異なる AG 3 を AG としてよいかどうかは疑問がありますが、原薬は品質に差があります。製造技術の異なる AG 2 は、溶出試験などに差が出ないでしょうか。本来、AG と言えるのは AG 1 のみと考えた方がよいのではないのでしょうか。
- ・ AG1 以外の薬は効果のデータが不明なものがあるので、薬局で採用する際に、ちゃんとチェックをするのが当然だと思いますが、できてないことが多いと思います。
- ・ 薬剤の安定性吸収性全く考えていない。日本の GE はダメ。
- ・ GE の有効性に関しては甚だ疑問。
- ・ 保湿剤では基剤も重要であり、データの少ない GE は不安です。
- ・

【製薬会社・医療行政に対して】

- ・ 厚生労働省の責任の下、指示によって行われていると理解しています。
- ・ 厚労省の長年の指導に問題があったと考えています
- ・ 医療行政、おかしい方向に進んでいるように強く感じます。
- ・ AG の存在は知っていたが、GE との差別化については周知されていないと感じる。GE の供給不足問題について厚労省は自らの監督責任があるのだから迷惑をかけている全国民に謝罪すべき。医療費をしばっている財務省も同罪なので共同で記者会見しろといつも思っている。
- ・ 本音を言えば AG1 または AG2 のみにして欲しい。品質や効果に不安があるため。全く同じではない GE にしないと減点など行っているレセプト上の処置は医療の質を考えた場合違和感がある。GE を異常なほど推奨するのであれば、品質の管理や点検など誰かが責任を持つべきで、先発品を処方すると罰金のような体制を取っている厚生労働省や支払い基金・健保などが積極的に関与すべき。
- ・ (趣旨からはずれますが… ただの愚痴です。すみません。) 国が進める後発品優先政策の結果、相当医療費が抑制されて国民医療費が減少して然るべきなのに、報道では医療費が膨張して財政を圧迫するという話しか出てこないのはなぜなのか不思議で仕方ありません。浮いたお金で保険料でも引き下げられてよさそうなのに、どこに消えているのでしょうか。そもそも企業倫理などを持ち合わせていないバツタ物屋と、外国かぶれのエセ医療経済学者と、財務省が結託して保険財政を喰い物にするこの愚策の事業評価をキチンとすべき時期に来ているのではないのでしょうか。それにしても本当に出荷調整の嵐は何とかして欲しいし、この混乱の責任は単に民間企業の問題なのではないのでしょうか。国や厚労省はないのでしょうか。
- ・ GE 発売製造会社は厳しく監視してもらいたい (厚労省に)
- ・ AG に対する知識を与えず患者に処方方を強要する会社や国のやり方は自由主義社会の基本に反します。違法行為だと思います。
- ・ 国が医療費抑制として積極的に AG、GE を推奨しているし、処方箋加算もだしており、医師の立場ではどういふものか説明することしかできない。一番困るのは AG、GE を拒否する傾向があり、法的に AG、GE になるようにしたほうが良いと思います。
- ・ 購入価格で採用を決定してしまうことが多い。一般 GE の不備・不正については国の検査体制にも問題があるのではないか。
- ・ 各社とも「命をあずかっている」という認識が全く認められません。患者の健康より、医療費削減の政策が見え見えで、無責任さが露骨です。
- ・ 同じジェネリックでも製薬会社が多数あり、また、薬局によっても採用薬が異なるため、頻繁に変更の問い合わせの TEL や FAX が入り、診療に支障をきたしています！！
- ・ 小林製薬だったと思いますが、薬の中に眠剤の成分が混入し出荷していた等々不祥事がたび重なる
- ・ まずは日医工を解体しましょう。化血研よりタチが悪いです。
- ・ ジェネリックはどここのメーカーを選択すればよいか迷う

- ・ 製造メーカーにより価格や品質が異なり、オーソライズドジェネリックの方が処方する医師側も安心。
- ・ 副反応の問い合わせをしている GE の会社の対応がひどい。できるだけ GE は使用したくないが患者さんが希望するときは使用しています。
- ・ 事故は許されないことだと思います。薬品の品質が低下している背景には、医療費節約のためジェネリックメーカーがずさんな体質になっていることがあると思います。
- ・ そもそも、AG, GE にかかわらず薬剤の安定性、信頼性を担保することに関しては、行政、メーカーが責任を負うものであり我々がそのことに責任を持って対処しなければならないこと自体あり得ない。
- ・ 門前薬局に泣きつかれて先発品変更可としています（なるべく AG を使用しているといいます）。一番問題なのは日本の財務省と厚労省のあり方だと思います。
- ・ 院外処方なので処方後の状況は分かりません。健保が GE に変更するように患者に指示しているのが現状でどうにもなりません。
- ・ 保険組合や市役所からの「ジェネリックにするとこれだけ安くなります」という通知を患者から提示されることが多くなりました。
- ・ ジェネリックメーカー多数あり、コロナ禍で供給不能の薬剤も数多くあり、製造、販売許可を厳格化して誰でも参入できないような規制が必要そうである。また、海外で製造されているものも多く、為替や戦争などで流通や価格が不安定な現状もあり、ある程度は国内で製造する必要があるかと思います。
- ・ ゼロメーカーの不手際による流通の混乱は先発役にまで及び、数年経っても改善されていない。この現状をもっとマスコミも報じ、無責任に後発品普及を強制した国の責任を追求するべきだと思う。
- ・ AG なら大丈夫という厚労省の説明を信じる他なかった。なぜあのようなミスが起こるのか、本当の理由を知りたい。
- ・ AG についての、当該メーカーからの情報提供が無い。薬効も疑問点があるが確認しようがない。

【薬局に対して】

- ・ 薬局の対応、説明の仕方に左右されることも多い。例）国は GE 使用を勧めている。有効性に変わらない等。
- ・ 薬局への支持の方法を統一してほしい。
- ・ 薬局が経営を優先して調剤しているようです。
- ・ 先発で処方しても薬局が勝手に GE に変える。患者さんによっては全部 GE 希望もあり、先発希望もある。先発が良いですということは説明して、一般名で処方して、患者さんに薬局で自分の希望を言うように話している。
- ・ 薬局さんもノルマがあり、協力し合わないとはいけないと思いますが、悩ましい状況です。
- ・ 近隣薬局薬剤師先生を信頼して処方しています
- ・ 健保組合からジェネリック使用を患者さんたちは勧められていることが多く、一回の処方の中でいくつもの対応をするのは現実的には大変で、結局は薬局主導となることが多いように思います。薬局とジェネリックメーカーとの関係を見直さないと解決しないのではないのでしょうか？
- ・ 医院からは先発品変更不可として処方しても薬局サイドで勝手にジェネリック品にされていることがあります。先発品を扱っていない薬局なのかも知れませんが、こちらとしては介入のしようがないため非常に困りますが、これについては改善策はないのでしょうか？
- ・ ある薬局では強硬に AG や GE を押してくる所があります。患者さんには、先発と全く遜色が無いと言っているようです。
- ・ 今のところ、こちらから積極的に聞かなければ周囲調剤薬局からの資料提供などもないので、どのように処方されているのか把握できていない。
- ・ AG を採用したいが薬局の都合で採用できないことが殆ど。

【薬価について】

- ・ 適正な薬価をきちんと検討すべき。GE についてのしっかりとした情報公開を希望。
- ・ 物価が上がっているので、薬価も上げて行くことが必要だと感じます。

【患者への対応】

- ・ 一般名で処方しているので、実際どのゾロ製品が本人に出されているか不明である。
- ・ 軟膏の名前が増えて、患者側の薬の管理が煩雑になっている。先発品の名前が覚えやすい。
- ・ 患者さんと処方箋薬局と相談して決めている
- ・ 緑内障点眼、抗菌点眼は慎重。アレルギー、ドライアイはニーズに合わせて。